



松本 由起さん
群馬県伊香保温泉
ホテル松本楼

群馬県伊香保温泉・ホテル松本楼の松本由起と申します。今回は群馬県、伊香保温泉のホットな話題をお知らせいたします。

このたび「温泉文化」がユネスコ無形文化遺産の国内候補に決定しました。この取り組みは実は群馬県発であります。群馬県は2



をもっとJKK
全旅連・女性経営者の会
コラム&レポート
Vol.197

「温泉文化」は、『自然の恵みである温泉に浸かり、心と体を癒やす』という、日本人に根付いている社会的慣習である」。旅館業に携わる者として誇らしい気持ちになりま

「次の目標は群馬からオールジャパンを狙おう」と、話していた高崎商科大学熊倉浩靖特任教授たちの野望が実現したという嘘のような本当の話なのです。

国境なき「石段」プロジェクト

「温泉文化」は、の人もわかってもらう努力が必要。母国での起業に生かそうと日本の温泉地で働く外国人籍従業員を支え、温泉の慣習を世界に広げられるといい」と熊倉教授は仰っています。私もお客様に応援していただける行動を取っていきたくと思います。

伊香保温泉も、最近マスコミによく取り上げられ賑わいを魅せています。そのきっかけは、シンボルの石段街にある旅館が売りに出たことによりです。外国籍の買い手が名乗りを上げたことに危機感を感じた地元の金融機関が出資を呼び掛け、会社を作り5軒のテナントを入れた店舗に再生させました。県産だけにこだわったセレクトショップや達磨・こけしの絵付け体験のできるお店、ソールフー

ドである「焼きまんじゅう」の食べられるカフェ、名物「水澤うどん」の飲食店など、今や温泉街の中心的存在になっていきます。

コロナ前は閑散としていた石段街でしたが、テナント希望の方々が県内外から現れ、自治体や金融機関の視察も数多くあります。この活気を一過性にせず、存在意義のある店舗作りを心掛け、志を一緒に伊香保温泉を盛り上げていきます。このプロジェクトは「国境なき石段」と命名されました。